

もうすぐミャンマーへ帰国の研修員

ゾウさんへインタビュー!!



今回インタビュー
させていただいたのは…
ウィン ソウ ハイ
Win Zaw Hein さん



Q1 金沢大学ではどんなことを勉強していますか?

衛星通信を研究しています。
衛星通信が大きく影響を及ぼす上空の電離層の状況について研究をしています。
特に既に実用化されているGPS (Global Positioning System) の信号が上空の電離層の影響を受けて地上に到着することが若干遅れることで起きる誤差を調べることで、電離層の状況を確認する研究を進めています。



Q2 ミャンマーに戻ったあと、金沢大学で学んだことをどう生かしていきますか?

金沢大学での研究でも特別に高価な測定器を使ってはいないので、日本で実施した研究と同じように帰国後にミャンマーでも実施できます。具体的には先ずミャンマーのヤンゴン工科大学とマンダレー工科大学の2か所と同じように計測を行い、その後計測地点をミャンマー国内中に増やして日本と同じ様にネットワークを作り、電離層の研究を衛星通信に生かしていきたいと考えています。

Q3 3年間、金沢で学び生活しましたが、どんなことが印象に残っていますか?

みなさんスケジュール通りに行動するところや、時間通りに電車が来たり、環境をきれいにしようと気を使うことが良いことだと思いました。3年間で北陸のいろいろな場所に行きました。雪が好きなのでイオックスアローザ(富山県)というスキー場が気に入りました。夏には山中温泉周辺の観光スポットに行くのが好きでした。

教師海外研修実践報告会

2017年2月4日 @リファール 8階 大会議室

2016年度JICA北陸の教師海外研修は、サモアコースには小学校、中学校、特別支援校の教員5名が、フィリピンコースには工業高校、高専の教員3名が参加し実施されました。約1年をかけたプログラムの最後が2月4日に行われた実践報告会。教員はもちろん、中学生、高校生、大学生、社会人等いろいろな背景の方々が参加し、報告会は大変盛り上がりしました。

限られた時間での報告では伝えきれないことも多かったと思いますが、参加者のアンケートには「次世代を担う子供たちが世界に目を向けることはとても大事だと改めて感じました」「学んできたことを色んな視点で工夫され実践発表しているのが楽しかったです」などの感想をいただきました。報告した海外研修参加者はもちろん、報告を聞きに来てくださった方々にとって次につながる有意義な報告会になったと思います。



最初は緊張した表情の参加教員達も…

実践報告では参加者の熱心に
耳を傾ける様子に反応しアツク語ります

実践報告用のポスターにも工夫がいっぱい

2017年度 教師海外研修 参加者募集について

2014年度からの3年間実施したサモアでの海外研修では様々な体験と交流を通して、学びを深める機会を与えてくれました。2017年度…次なる研修の地はサモアと同じく大洋州の国「フィジー共和国」と決定しました。募集は3月下旬から5月中旬までの予定です。興味関心のある先生方の応募をお待ちしています! 詳しい情報は3月中旬ごろ発表します。



国際協力中学生・高校生 エッセイコンテスト2016

JICA中学生・高校生国際協力エッセイコンテスト2016の授賞式が2月18日、東京のJICA市ヶ谷ビルで行われました。北陸からは、中学生2名、高校生1名の計3名が受賞し、式に臨みました。富山、石川、福井の3県それぞれから1名ずつ全国表彰の対象者が出たことはJICA北陸の歴史でも大変珍しく、うれしい結果となりました。



- 中学生の部
 - 【審査員特別賞】石崎 侑さん 『僕らの海は世界に繋がる』
富山県 高岡市立伏木中学校3年
 - 【国際協力特別賞】高崎 千実さん 『もう一人の「きょうだい」』
福井県 坂井市立坂井中学校3年
 - 【独立行政法人国際協力機構 北陸支部長賞】
 - 大井 洸樹さん 富山県 高岡市立戸出中学校3年
 - 關 まことさん 石川県 金沢大学人間社会学域学校教育学類附属中学校3年
 - 村中 あいりさん 福井県 福井市藤島中学校3年
 - 高校生の部
 - 【国際協力特別賞】渡邊 英瑠さん 『新渡戸の願い—平和への架け橋』
石川県 金沢大学附属高等学校2年
 - 【独立行政法人国際協力機構 北陸支部長賞】
 - 梶田 菜里さん 富山県立大門高等学校2年
 - 立浦 和奏さん 石川県立金沢泉丘高等学校3年
 - 川端 樹さん 福井県立武生東高等学校1年
- 受賞作品はJICA北陸のウェブサイトでご覧頂けます <https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/essay/2016/index.html>

2/23

富山県・JICA連携セミナー 開催報告!

～富山県の技術をアジアへ!海外展開と地方創生～

「海外展開と地域活性化」をテーマに、アジア各国と経済交流を進める富山県との共催セミナーを開催しました。富山県、ジェトロ、JICAの支援策や途上国の現状を紹介し、県内企業2社(丸新志鷹建設、ジャパンフラワーコーポレーション)より海外展開の取り組みについて講演がありました。企業の実例では、ODA受注などによるネパールやブータンでのインフラ工事の経験から資金面や実施体制構築に関するメリット・デメリットが紹介された他、ベトナムを拠点とした農業バリューチェーンへのトータル支援とJICA事業を通じたラオスおよびASEANでの有用植物資源を活用した事業展開計画などが紹介され、幅広くインパクトのある内容で情報提供いただきました。当日は65名の方が参加され、今後の進出計画のヒントを得ていただく機会となりました!



HOT ニュース

～北陸の技術を世界へ!～

2016年度 第2回中小企業海外展開支援事業 「案件化調査」「普及・実証事業」で4件(社)採択!!

- 明和工業(金沢市)/ケニア/バイオマス炭化装置を用いた有機廃棄物処理技術展開に関する案件化調査
- 北陸テクノ(射水市)/メキシコ/廃棄物燃料を活用した再生アルミ製造技術に係る案件化調査
- 水機工業(富山市)/インドネシア/用水路対応型小水力発電システムによる電力不足解消に向けた普及・実証事業
- ジャパンフラワーコーポレーション(射水市)/ラオス/有用植物資源の持続的な商業利用に向けた普及・実証事業

青年海外協力隊員 現地からの声

マダガスカル編

キツネザル・バオバブ・カメレオン・バナナで有名な赤い大地が広がるマダガスカルから、こんにちは!
私の主な活動は多くの柔道クラブで基礎を中心に技術指導することです。マダガスカル人は比較的小柄なので、日本人への教え方とフィットすることが多く、やり易く感じています。
先日、鏡開きがあり、お餅の代わりに「クーバ」というお米で作ったケーキ!?と塩味の汁粉を頂きました。この国の主食はお米!日本のお米より軽い感じで日本人の3倍近く食べます。また、鏡開きでは柔道の形の実演がありました。遠く離れた地でも、日本の伝統行事が尊重され、毎年開催されていることに柔道の持つ力の大きさを改めて感じながら活動しています。



今回は、マダガスカルで
柔道を教えている
水野 泰晴さん(福井県出身)



遠征先の元気一杯の子供たち!



派手なカメレオン! 決して珍しくないです!